

# 一般質問

## 市民の声を市政に

※ 各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ることで、一般質問の録画映像をご覧くださいことができます。

※ 小久保博史議長は職責上（議事整理権）、監査委員の水沼日出夫議員は申し合わせにより一般質問は行っていません。

（文責は、各質問者）

## 一般質問に26人が登壇

### 豊野方面路線バスを 使いやすく



木下三枝子  
議員



春日部駅東口から豊野方面路線バスを利用している高齢者にとって、優しい運行への改善、また春日部駅西口への発着を求めている豊野地域住民からの要望について、認識を伺います。

①増便や鉄道との連携により、待ち時間の少ないダイヤへの改善について②停留所の時刻表の文字が小さい、暗くなると見づらいことに対する改善について③行く先のアナウンスや表示が分かりづらいことへの改善について④停留所へのベンチの設置について、現状と仕様、座面の仕切りはなく、台数も増やして早期に設置することへの市の認識は。

#### ○都市整備部長

春日部駅西口発着については、当時の乗降調査によると、大変利用が少ない状況で、採算性が見込めない路線を復活させることは困難であると伺っており、市としても難しい

ものと考えています。①費用対効果などを考慮した上、現在のダイヤとし、鉄道との連携も、できる限りの対応していると伺っています。②時刻表改正などのタイミングで、必要性を検討していくとのこととです。③ルート表示は費用面からすぐの対応は難しく、また、分かりやすいアナウンスを心掛けていると伺っています。④利用者の利便性や安全性に配慮し、設置可能な場所に設置したいと考えています。

このほか

○認知症について気軽に相談できる春日部市を

### 公 用 車 の カーシェアリングについて



伊藤 一洋  
議員



昨今、環境負荷の低減や自動車保有台数削減の観点からカーシェアリングが社会的に普及しています。

公用車については、ゼロカーボンシティを実現するために、次世代自動車の導入台数を増やすとともに、運用を効率化して保有台数を減らすこ

とが重要です。

埼玉県内では、入間市で12台のEV車をカーシェアリングしていること、また、所沢市とふじみ野市は、民間事業者が設置したカーシェアリング用のハイブリッド車1台を公用車としています。

ゼロカーボンシティの実現や、公用車の保有台数を削減していくためにも、今後カーシェアリングを導入していくことは、非常に有効であると思いますが、本市の考えをお伺いします。

#### ○財務部長

公用車へのカーシェアリングの導入は、次世代自動車の導入による二酸化炭素排出量の削減と併せて、保有台数そのものの削減による取得コストや管理コストの削減にもつながることから、有効な方法であると認識しています。

今後は、カーシェアリングを導入している自治体や民間事業者へのヒアリングを行いながら、本市にとって効果的なカーシェアリングの導入方法について、調査研究していきたいと考えています。

このほか

○春日部市公共施設マネジメント基本計画の進捗について

## 農業政策について



山崎 進  
議員



農業従事者の高齢化、担い手不足、また、ここきて農業資材や肥料の高騰など、農業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。春日部市でも高齢化、担い手不足は深刻で農業離れが進んでいます。本市の農業経営体数は、平成22年には1568が、令和2年には957へと、10年間で611経営体減少しているようですが、日本の一次産業の農業が衰退することは、日本の食生活が、さらに輸入に頼ることになります。そうならないように、農業を守らなければなりません。

そこで、新規就農するための条件を伺います。さらに、新規就農を目指す者の支援策、今後の農業政策について市の考え方を伺います。

○農業委員会事務局長

新規就農の条件は、農業委員会へ新規就農の申し出を行い、営農計画を作成します。

その後、関係機関により、農業経営を適切に行えるか確認し、農地を取得・借り入れすることが条件となります。

### ○環境経済部長

支援策は、農業機械を導入などする者に対して、一定の要件の下、補助金があります。

### ○市長

今後の農業政策については、魅力ある農産物の生産と春日部ブランドの構築、農業機械などへの補助、農業基盤整備やあつせんなど、さまざまな角度から支援していきます。

### このほか

### ○交通安全



農業支援（イメージ）

## 春日部桐箆笥から つなげる姉妹都市へ



吉田 稔  
議員



伝統的工芸品として国の指定を受けている「春日部桐箆笥」。桐たんすの組合員や団体の皆さんが独自の活動の中で過去にパリで3回の展示会を開催しました。そこでパリと春日部の産業や文化が非常に似ていることが分かりました。①桐製品がとても人気。②エッフェル塔の並木通りの街路樹は桐の木が植樹されている。③漆がなじみ深く愛されている。④たこが文化として根付いている。⑤クレヨンしんちゃんが大人気。

これだけ共通項の多いパリであれば、姉妹都市の可能性もあり得ると思いますが、以下について伺います。

①姉妹都市の要件

②パリとの姉妹都市の可能性

○市民生活部長

本市の姉妹都市の要件について、特段規定はありませんが、自治体の国際化を支援している一般財団法人自治体国

際化協会において、姉妹自治体の要件として、両市長による提携書があること、交流分野が特定なものに限られていないことなどを挙げています。協定の締結に当たっては、相手方との友好・親善的な交流や実務的な協力など、さまざまな交流の積み重ねが必要と考えます。まずは春日部桐たんす組合をはじめとした民間団体と、パリ市に関連する民間団体との間の交流活動を注視していきます。

### このほか

○いよいよオープン ハルカイト

心から市民に寄り添った対応を！(特におくやみの対応に) 関して一



石川 友和  
議員



ある方のご遺族のおくやみに関する手続きに同行した際にいろいろと感じた市役所の対応で、どれだけ遺族に対する精神的負担軽減策が行われているのか伺います。

①市として行っている遺族に対する精神的負担軽減策の手続資料の内容について、おく

やみカードに「死亡」という表記が多数ある。配慮が足りない気がするが認識について。

②県内においてワンストップで手続きが完了する、おくやみコーナーを既に設置している市の数について。

③おくやみコーナーを設置して、職員の横の連携を駆使する時が来たと思うが、市長の意気込みについて。

### ○市民生活部長

①ご遺族の心情に配慮したものとなるよう、書類の名称、記載項目の表記について、今後見直したいと考えています。

②令和6年5月23日時点で、県内40市のうち14市が設置しています。

### ○市長

③ご遺族にとって、お亡くなりになった方の手続きは、相応な精神的負担が伴うものであると再認識しました。これまで以上に、ご遺族の方が手続きを円滑に行うことができよう、関係各課が十分に連携し、市民の皆さまに寄り添った丁寧な対応となるよう取り組んでいきます。

また、おくやみコーナーについては、他自治体の例を参考に、今後、調査研究を進めていきたいと思っています。



## 解体予定の 公共施設を活用した 救助訓練について



栗原 信司  
議員



過去にも、夜間避難訓練、ペット同行避難訓練、着衣水難訓練を提案し、実施してもらいました。また、解体予定の公共施設を活用した救助訓練についても平成28年に取上げました。

その際の答弁では日常の訓練に加えて、現場を想定できる訓練になることで、実りあるものになるとのことでした。実際に旧市立病院の解体時に、救助訓練を行ってもらいましたが、一般市民の見学はできなかったこともあり、その際の総括と訓練内容を踏まえて、今回は旧本庁舎を活用した場合はどうなるのか、伺います。

○消防長

今回、旧本庁舎を活用しての救助訓練は「破壊を伴わない訓練」と「破壊を伴う訓練」の2つを計画しています。複雑多様化する災害に対する知識と技術の向上と、市民

の安心・安全を守るため、個人の活動能力と組織力強化につながることを目指し、本市消防本部が保有する車両、資機材の効果を生かした訓練となるように、実施に向けて関係部局と調整中です。

救助訓練の見学については、間近でご覧になれるよう、安全管理に配慮した見学要領を検討します。

このほか

○市制20周年の迎え方について

○公用車・EV車両のカーシェアの導入について

○浸水対策について

## 大沼陸上競技場の リニューアル整備について



木村 圭一  
議員



大沼陸上競技場のリニューアルに関しては、ウイング・ハット周辺に整備予定の総合体育施設が完成するまでには、相当の時間を要することから、まずは、大沼公園で陸上競技をはじめ、多様なスポーツ・レクリエーションの活動ができるよう整備していくとのこと

とですが、その進捗状況について伺います。

また、市民の方より、陸上競技場として整備していくのであれば、公認記録として残すようにしなければ、競技場として意味がないのではとの疑問がありました。公認競技場の登録はするのでしょうか。

また、整備に当たっては関係団体と十分な協議をする必要があると考えますが、本市の見解を伺います。

○社会教育部長

進捗状況については、令和5年度に測量を実施し、併せて実施設計に着手しています。

令和6年度は、引き続き実施設計を進めるほか、地質調査を予定し、令和7年度の工事着手に向けて進めています。

陸上競技場の公認取得と今後の整備については、公認の必要性をはじめ、関係団体からの意見などを踏まえ、判断していきたいと考えています。

このほか

○上下水道の耐震化・ライフライン対策について

○新庁舎の課題について

○春日部駅周辺の無電柱化について（春日部市中央一丁目地区第一種市街地再開発事業）

## 春日部市の 観光施策について



鈴木 一利  
議員



春日部市観光協会が一般社団法人として設立されて3年が経過しました。そこで、一般社団法人春日部市観光協会設立における成果と本市の観光の現況について伺います。

また、春日部市にある首都圏外郭放水路が、国から「インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト」のモデル地区に選定されました。このチャンスをしっかりとつかみ取るためにも、春日部市の観光ビジョンや基本方針を伺います。

また、春日部市観光リピーターの増加および新規観光客の増加策のためにQRコードを利用したアンケートの作成や春日部市観光アプリの導入についての見解を伺います。

○環境経済部長

平成30年度に春日部市観光振興基本計画を策定し、観光ビジョンを「川」とともに暮らす歴史といまを未来につなぐ観光地春日部」と定めて

います。また、基本方針の中で、観光資源魅力向上・創出、観光ブランディング、受入基盤強化、地域のちから活用、観光推進体制の強化の5つの方針を示しています。

※QRコードを利用したアンケートや観光アプリの作成については、他の自治体の事例を調査研究し、導入について検討していきたいと考えます。

このほか

○新型コロナウイルスワクチン接種の助成を

○校内教育支援センターの設置について（不登校解消について）



首都圏外郭放水路

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

## ドッグランについて



中村 貴彰  
議員

ドッグランは、犬と飼い主が楽しいひとときを過ごすための特別な場所であり、犬とのコミュニケーションを深め、社会性を育むための大切な場として、多くの人々に愛されています。本市の愛犬家の中でも、ペットを自由に、かつ安全に遊ばせることができるドッグランへの期待が高まっております。設置要望の声を非常に多く頂いています。個人的に要望していた、内牧公園のテーマパーク化の実現に向けて、内牧公園にドッグランを設置していただきたいと思っています。すし、庄和総合公園やさらには県営春日部夢の森公園も一つの候補としてあるのではないかと思います。

本市には、遊歩道や公園も多くあり、犬を飼う人にとって良い環境だと思えますが、もともと犬と触れ合える特別な場所として、ドッグランを公園に設置することについて、

市長の考えを伺います。

### ○市長

設置には、近隣の方の理解が欠かせないなどの課題があると思っております。しかし、動物愛護への関心が高まる中、飼い主の方が愛犬と触れ合い、共に楽しみ、飼い主の方同士の親交を深められる環境があることは望ましいと考えます。今後は、既存公園などを中心に、適地の選出およびドッグラン設置を検討していきます。

### このほか

- 公園について
- 図書館について
- 農業支援について



ドッグラン (イメージ)

## 入学式のありようを通して 教育の在り方を考える



古沢 耕作  
議員

今年の市立小・中学校での入学式において、「時間短縮」という理由で、ご来賓として招いた地域のかたがたのお名前を紹介しないケースがあり、それとは対照的に、市長のビデオメッセージが時間を確保して紹介されていたことに、私は違和感を抱きました。

こどもたちは、矛盾に敏感です。

生きていく上で、あるべき「優先順位」を教える学校という場が、ややもすると、目の前に居る大切な人よりも、いわゆる「偉い人」への配慮を優先している、と誤解されるメッセージを送ってしまったのではないのでしょうか。

この危機感を踏まえて伺います。

市長は、ご自身で発案されたビデオメッセージが、結果的に、市職員のかたがたの仕事や、入学式のやり方に、影響を及ぼしたという自覚はありますか。

りますか。

教育長は、今回の学校での判断が、こどもたちへの誤ったメッセージになったという認識はありますか。

### ○市長

今後も、こどもたちにとってより良い方法で、祝意を伝えていきたいと考えています。

### ○教育長

こどもたちに間違ったメッセージを送ったという認識はありませんが、来賓紹介において、配慮が至らなかったと感じられる点については、改めて、検討していきたいと考えています。

## 春日部市中央一丁目地区 第一種市街地 再開発事業について



河井 美久  
議員



春日部市中央一丁目地区第一種市街地再開発事業は、春日部駅西口ロータリーに隣接した、広大な土地利用の再編を図る事業であることから、中心市街地の利便性や価値の向上を図る上で、鉄道の高架化や駅前広場リニューアルと一体的に検討する絶好の機会

だと思っています。

この地区の再開発事業は、市としても重要な位置付けであるとのことなので、これから先も引き続き、再開発事業が円滑に進むように、注視していく必要があると思います。

そこで、現在の事業の進捗状況と課題をお伺いします。

### ○都市整備部長

現在の進捗状況については、権利者で構成する「世話人会」により提案された、街区ごとで検討を進めており、街区ごと到低層棟と高層棟を設置し、事業化の検討をしているところだ。

市においても定期的に関係権利者を対象とした「権利者の会」を開催し、再開発に関する情報共有の場を提供するなど、再開発事業が円滑に進捗するように支援しているところだ。

課題については2点あり、1点目は関係権利者の合意についてです。事業を円滑に進めていくためには、高い水準での合意形成を図ることが重要であると認識しています。

2点目は工事費の高騰です。今後においては、建設コストを重視した事業計画を検討する必要がありますと考えています。